北杜市社協だより

平成23年（2011）10月（Oct）

ほのぼの

No.20

誰もが安心して暮らせる 支えあいのまちづくり

みんなの思い、届け!!

須玉町内の小学校５～６年生を対象にした企画「夏休みボランティア体験学習」！
その中のプログラムのひとつとして、東日本大震災の被災地の高齢者の皆さんに夏を少しでも涼しく乗り切っていただこうと「手作りうちわ」を製作しました。
みんなの「何かしたい」という気持ちが伝わってくるひとときでした。

社会福祉法人
北杜市社会福祉協議会

〒408-0011　北杜市高根町箕輪新町50番地
TEL　0551-47-5202／FAX　0551-47-5206
e-mail　h-shakyo@ap.wakwak.com
URL　http://www.shakyo.or.jp/hp/842/

CONTENTS

- 地域福祉課情報発信　P２～３
- 福祉団体紹介　P４
- コラム・共同募金お願い他　P５
- 会員募集・福祉がわかるクイズほか　P６
- 夏休みボランティア体験学習　P７
- ボランティア団体・学校紹介　P８

第3回ハッピーフリーマーケット出店者募集

子ども用品・マタニティなど、子育てを応援するフリーマーケットの出店者を募集します。
お祭りを楽しみながら出店できます。是非、ご参加ください。

日　　時　平成23年11月20日（日）　午前10時～午後2時
場　　所　白州総合グラウンド（白州の里名水まつり会場内）
ブース　1.5m×1.5m（先着10ブース）
出店料　無　料
その他　詳細については申込み時にお知らせします。
申し込み・問い合わせ先
北杜市社会福祉協議会　地域福祉課
TEL 0551(47)5202

しめ飾り教室　参加者募集

高齢者の生きがいと健康づくりの一環として、しめ飾り教室を開催します。
手作りのしめ飾りで、お正月を迎えましょう。

日　　時　平成23年12月14日（水）
午前10時～午後3時
場　　所　武川町高齢者活動センター
（社協武川支所のある建物です）
対象者　概ね65歳以上の方
参加費　1,000円（材料費・昼食代を含みます）
持ち物　ペンチ
定　　員　20名（先着順）
申　　込　北杜市社会福祉協議会　武川支所
TEL 0551(26)3568

介護家族交流会「元気回復の集い」参加者募集

社協と地域包括支援センターでは、在宅で家族を介護している方の交流会を毎回違った内容で開催しています。参加される方は介護者同士のフリートークなどでリフレッシュしています。是非お気軽にご参加ください。

開催日時	テーマ・内容	開催場所	持ち物
11月9日（水） 10：00 ～14：00	『高齢者が喜ぶレシピを学ぼう』 講師：市健康増進課　佐藤栄養士 『会食しながらフリートーク』	長坂農村環境改善センター	エプロン 三角巾 筆記用具
1月11日（水） 10：00 ～11：30	『知っているようで知らない介護保険制度』 講師：介護支援課長 『フリートーク』	北杜市社協本所 （高根福祉センター）	筆記用具
3月14日（水） 10：00 ～14：00	『温泉でリフレッシュ』（送迎・食事付） 『一年間のまとめ』 『フリートーク』	市内温泉施設	入浴用タオル 筆記用具

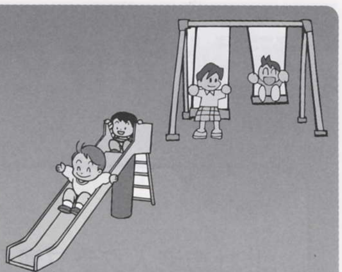
参加申込み
◎　下記の申し込み先に各開催日の1週間前までにお申込み下さい。（1回につき先着20名）
参　加　費
◎　無　料
申込み・問い合わせ先
◎　北杜市社会福祉協議会　地域福祉課
TEL 0551(47)5202

無料法律相談の開催について

日　　程	予約受付開始日	時　　間	会　　場
11月24日（木）	10月3日（月）～	午後1時～午後4時 お一人30分	北杜市社会福祉協議会 （福祉センター）内 高根町箕輪新町50
平成24年1月26日（木）	12月1日（木）～		
3月22日（木）	2月1日（水）～		

※　事前予約制です
※　予約先　北杜市社会福祉協議会　地域福祉課　TEL 0551(47)5202（定員になり次第しめきります。）
※　協力　山梨県弁護士会

子どもの遊び場整備事業補助金をご活用ください

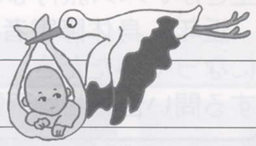


北杜市社会福祉協議会では、各地区が管理している遊具等の整備に対する支援を行っています。老朽化した遊具などを修繕、または新設する事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。下記の要領にて実施いたしますので、子ども達の生活環境の整備に本補助金をご活用ください。
尚、今回の募集は、来年度実施する地区の募集です。

目　　的	各地区等が管理している公園や広場に設置してある遊具等の修繕、または設置する事業を補助することにより、子どもの遊び場が整備され、子ども達の生活環境の整備と児童福祉の推進を図ることを目的としています。
補助の適用範囲	○ 遊具等（遊具、ベンチ、フェンス等）の修繕、及び新設に要する経費 ○ 遊具等の整備用原材料（塗料、砂、その他遊具等の保全に必要なもの）の購入に要する経費
補　助　率	事業に要する経費の90％以内（限度額20万円）
申 請 方 法	各地区の代表者の方は申請書、事業計画書等を社会福祉協議会本所、または各支所へお申し込みください。申請書等必要書類は郵送いたしますので、地域福祉課（TEL 0551(47)5202）までお問い合わせください）
申 請 期 間	平成23年11月1日（火）～ 平成24年1月31日（火）
実 施 期 間	平成24年度（平成24年4月1日～）

出産お祝い品贈呈事業

申 請 場 所	北杜市社会福祉協議会本所・各支所
申 請 方 法	申請書へ記入、捺印の上、母子手帳の提示をしてください。 （※申請書は社会福祉協議会各所にあります。）
申 請 期 間	出生の日から6ヶ月以内
申 請 回 数	お子様ひとりにつき、1回の申請となります。
お祝い品内容	紙おむつ2袋



「ひとり親家庭親子クリスマス会」参加者募集

市母子父子寡婦福祉連合会主催「ひとり親家庭親子クリスマス会」事業への参加者を募集します。ボウリング大会＆クリスマス会を行います。市内在住のひとり親家庭の親子なら誰でも参加できます。ふるってご参加ください。

開催日　平成23年12月4日（日）　午後2時～6時
場　所　ダイトースターレーン双葉店
対　象　市内在住ひとり親家庭の親子
参加費　大人 1,000円　子ども 500円
※参加費にはボウリング代・食事代すべてが含まれています。
申込締切　11月16日（水）　先着順　70名
申し込み・問い合せ
北杜市母子父子寡婦福祉連合会事務局
（北杜市社会福祉協議会本所内）
TEL 0551(47)5202
FAX 0551(47)5206

福祉団体の活動報告＆会員募集!!

老人クラブ連合会

北杜市老人クラブ連合会では年間を通じて様々な事業をしています。

6月に行われた囲碁大会では、白熱した対局が繰り広げられました。結果は長坂チームの優勝。北杜市の選手は県の大会に出場しても、常に上位に入る腕前の方々です。次回大会にむけて、囲碁美術館などに集い、さらに腕を磨いているようです。

7月には恒例のゲートボール大会が行われました。各町2チーム合計16チームの参加で行われる大会ですが、こちらも今年は長坂本町Bチームが優勝し、長坂本町チームは男性で構成されるAチーム、女性で構成されるBチーム2チームとも県大会に出場することとなりました。今年度の老人クラブの事業は今のところ長坂町の活躍が目立っています。他の町は“打倒長坂”を合言葉にこれからの大会に臨むつもりでいるようです。

老人クラブでは、このほかにも年間を通じてそれぞれの趣味を生かした活動、スポーツ大会、生きがいバス旅行などを各町単位や地区単位で行っております。是非老人クラブ会員になり皆さんと一緒に生き生きと楽しみませんか？会では、若年高齢者の会員の加入を呼びかけています。フットワークの軽い若い高齢者に元気に楽しく活動していただき、老人クラブの活性化を目指したいと思います。

身体障害者福祉会

9月25日に都留市で行われた山梨県身体障害者連合福祉会ゲートボール大会に北杜市の代表として出場した大泉チームが見事優勝しました。高根チームも4位入賞という好成績を収め、みなさん喜びに沸きました。

北杜市身体障害者福祉会では障害者同士の交流、生きがいづくりのため、年間を通じて様々な事業をしています。ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会、ゲートボールリーグ戦、生きがいバス旅行などを通じて会員は交流を深め楽しんでいます。

近年、身体障害者福祉会は高齢化により会員の減少が進んでいます。若い世代の方にも是非会員になっていただき、より多くの方が交流できる機会を増やしていきたいと考えています。加入に関する問い合わせは下記へ連絡ください。

母子父子寡婦福祉連合会

北杜市母子父子寡婦福祉連合会では7月10日にひとり親家庭の親子の交流事業「親と子の集い」を開催しました。当日はひとり親家庭の親子、寡婦、母子相談員など約70名が白州の尾白の森名水公園べるがに集い、レクリエーション、ゲーム、木工作などをして楽しい1日を過ごしました。イベントの最後のアイスクリームバイキングに子供たちは大喜び。5種類のアイスクリームを何度もおかわりして食べました。暑い1日は夏のよい思い出となったようです。

会では、このほかにも秋には親子社会見学バス旅行、冬にはクリスマス会や他の市との交流会などを行い、ひとり親家庭の親子が集い、情報交換をしたり、交流を深めたりする機会をもっています。今年のクリスマス会は12月3日（土）に昨年好評だったボーリング大会＆会食を行います。会員でない方も参加できますので、是非お誘い合わせてご参加下さい。会への入会も随時受け付けております。ひとり親家庭の生活支援の制度の利用もできますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先
北杜市社会福祉協議会　本所　　TEL 0551(47)5202

コラム

絆（人との結びつき）

高根町ボランティア活動
推進連絡協議会　会長　高柳直身

昔はあまり使用されなかった言葉であるが今の世の中においては、マスコミや会議の場で多く用いられている。家庭、地域、職場や学校での児童生徒等すべての面で失われている。その要因はいろいろあるが、化学技術の進歩が第一であると思う。

物質的には生活は向上し、個人の余暇の利用等自分自身にとっては生活を満喫し、子ども達はテレビやゲームに夢中で野外等における昔ながらの交わりがなく、自己中心になり、思いやり、助け合いの精神が育まれない。

子ども達が成人になった時、心と心の結びつきが失われることが懸念される。

地域や集落においては、自動車や電話等により、対面でのあいさつや会話が減り、真の結びつきがないように思う。

東日本大地震を契機に国民全体が原点にもどり、「がんばろう日本」の精神で努力していることが世界中から称賛されているが、一つの事柄や場面だけでなく、日常の生活の中で持つことにより、自分は当然、地域社会の発展と向上に寄与できると思う。

「人との結びつき」を昔と今、どちらにも長所、短所があるので、相方を融合した社会が望まれる。

心の絆を大切にすることにより、真の人間としての生き甲斐を得ることができるよう努力することが必要である。

東日本大震災義援金について

東日本大震災義援金へ多くの皆さまからあたたかいお気持ちをお寄せいただきありがとうございます。

皆さまからの義援金1,367,822円（9月30日までの分）は、全額中央共同募金会に送金され、被災された方々の元に届けられます。

なお、義援金の受付期間が平成24年3月31日（土）までに延長されました。引き続き、皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。

義援金の送金状況や配分状況など詳細については、中央共同募金会のホームページをご覧ください。
http://www.akaihane.or.jp/

赤い羽根共同募金運動へのご協力をお願いいたします

今年も10月1日から12月31日まで赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されております。

皆さまからお寄せいただく募金は、障がいを持った方や高齢者の活動支援、ボランティア活動支援、子育て支援、各種大会の開催、広報誌の発行など、地域で役立てられます。

皆さまには、本年も趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

おいしく節電

須玉支所では、この夏の節電対策の一環としてゴーヤを使った緑のカーテンを設置しました。

つる性植物を利用した緑のカーテンは、熱線といわれる赤外線を反射し、葉の気孔からは水分を蒸発しているため、夏の強い日差しを和らげてくれるだけでなく葉の間を通り抜けてくる涼しい風が室内の温度が上がるのを抑えてくれるそうです。

節電に加えてエコ、そしておいしい。一石二鳥どころか一石三鳥でした。

ふくしがわかるクイズ番外編「エコクイズ」　No.7

【問題　1】
ヘチマやゴーヤなどつる性の植物を窓の外に生育させて室内の温度を抑える自然のカーテンを何というでしょうか？
1．緑のカーテン
2．青のカーテン
3．黄のカーテン

【問題　2】
エコマークを知っていますか？ 1989年に環境庁が設定したもので、「ちきゅうにやさしい」商品に表示されているマークのことです。では、正しいエコマークは次のうちどれでしょう？
1.　2.　3.

【応募方法】
官製はがきに問題の答え、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見、ご感想を記入の上、
〒408-0011　北杜市高根町箕輪新町50
北杜市社会福祉協議会「ふくしがわかるクイズ」係　まで、お送りください。
または、メールで問題の答え、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見、ご感想を記入の上、
h-shakyo5@cb.wakwak.comまでお送りください。
メールの場合は件名に「ふくしがわかるクイズ」と記入してください。
全問正解者の中から抽選で10名の方に、泉温泉健康センター及び白州福祉会館の共通無料入浴券（5枚セット）をプレゼントします。締め切りは、12月31日（当日消印有効）。
なお、当選者の発表は入浴券の発送をもって代えさせていただきます。

※No.１９号の答えは「②ブレーキをかけて乗る」「③後ろ向きでおりていく」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

「平成23年度社会福祉協議会会費」をお願いいたします。

社会福祉協議会は地域福祉活動の推進を行う公共性の高い民間福祉団体で、会員の皆様の会費を貴重な財源として会の運営を行っております。
市民の皆様には社会福祉協議会の福祉活動をご理解いただき、会員になっていただきますようお願い申しあげます。
尚、近年の少子高齢化、核家族化、景気低迷による離職者の増加など、福祉を取り巻く状況は大きく変化し、市民の皆様からの多様なニーズに対応した地域福祉活動が求められており、それに伴う財源の確保が課題であることから賛助会員制度を導入いたしました。ご賛同をいただき、入会をお願いいたします。

◎一般会員　　1,000円（一世帯あたり年額）
自治会へ加入されている方は区長さんなど自治会役員の方を通して納入をお願いします。
自治会へ加入されていない方は、右記の納入書で会費納入のご協力をお願いします。

◎賛助会員　　1口5,000円（法人、団体、事業所等年額）
社協より封書にてお願いをさせていただきます。

●各窓口受付時間　午前8時30分～午後5時30分

●納入場所がわからない場合は、お手数ですが電話でご確認ください。

平成23年度社協会費納入書

氏　名	
住　所	
会　費	

納入場所
社会福祉協議会窓口
本所・高根支所　47-5202
明野支所　25-3289　須玉支所　42-3883
長坂支所　32-6799　大泉支所　38-0133
小淵沢支所　36-4460　白州支所　35-2383
武川支所　26-3568

あたたかいご寄付 ありがとうございました

平成23年9月30日現在
（敬称略）

マックスバリュ東海㈱	静岡県	車イス

社協の温泉　遊びに来てみませんか？

泉温泉健康センター	料金（共通）
大泉町谷戸1880 0551-38-2611 10:00～22:00（受付終了21:30） 毎週水曜日定休	北杜市内 大人(中学生以上)：300円 北杜市内別荘所有者 大人(中学生以上)：450円 小学生：200円 小学生未満：無料 ※障がい者は100円引き
白州福祉会館	
白州町大武川344-19 0266-65-3570 9:30～21:00（受付終了20:30） 祝日を除く月曜日定休	

子どもたちの夏休みボランティア体験学習

夏休み期間中を利用して、各所で夏休みボランティア体験学習が行われました。

東日本大震災の被災者に送る「手作りうちわ」を作成したり、車椅子や福祉器具を学んだり、施設で利用者の方と交流したり、普段はなかなかできないことを経験してもらいました。

夏休みだからこそできるボランティア体験。この体験を生かし、今後も福祉の心を大きく育てていってほしいと思います！

北杜市社協では、今後もボランティア活動の普及・啓発のために、このようなボランティア体験の機会を作って行きたいと考えております。

ほんの一部ですが、活動を写真で紹介します。

料理＆会食会

うちわ作り

ふれあい広場でお手伝い

デイでの利用者との交流

デイでの夏祭り

ボランティア活動普及校の活動紹介

北杜市立須玉小学校

須玉小学校では、ボランティア委員会が中心となり、人や地域や地球のためになる活動を進めています。常時活動として、アルミ缶集め、古切手・ベルマーク・テレカなどの使用済みカード集め、ペットボトルキャップ集めなど「集める活動」と、臨時活動として点字体験や点字クイズなどを行っています。

アルミ缶集めは、数年前から行っているもので、換金したお金で車いすを購入し、福祉施設に贈っています。アルミ缶は一年中いつでも学校に持ってこられるように、回収箱の置き場所を決めています。夏休みなどの長期休業の前には、家庭で集めてもらえるようにお便りを出し、協力を呼びかけています。そのかいあって、保護者の意識も高まり、アルミ缶が一年中集まるようになりました。今年はぜひ車いすを購入できるようにと頑張っています。

古切手・ベルマーク・テレカなどの使用済みカード集めについては、月に一度ボランティア週間を設定し、クラス毎に集めています。集められたものは委員会活動時に集計し、児童生徒連絡協議会を通して、様々な団体に贈られています。

ペットボトルキャップ集めについては、発展途上国にワクチンを送るため、２年前から始められました。各家庭のものばかりでなく、お家の人が働いている店や会社からもたくさんのキャップが集められています。

また、ボランティア委員会の進行で、全校児童に点字を打つ体験をしてもらっています。毎年行っている活動なので、たくさんの人が興味を持って取り組んでくれています。点字体験を生かす場として、点字クイズも行われています。点字で何と書かれているのか低学年・中学年・高学年別にクイズを出します。点字体験で読み方を知っているので、みんな楽しみながら点字にふれることができています。

これからも、須玉小の児童がボランティアに興味を持ち、人や地域や地球のためになる活動を工夫し、実践していきたいと思います。

ボランティアグループの活動紹介

八ヶ岳朗読サークル　ほがらか

平成11年に、かつての大泉図書館で開かれた朗読講座終了後、勉強を続けたいという10名でグループを結成、メンバーが大泉、高根、長坂、小淵沢と多地域に亘ることと、朗読の朗の読みから「八ヶ岳朗読サークル　ほがらか」と命名しました。勉強を重ねながら地域のお役にも立ちたいという同好の士の集まりは、楽しくないはずはなく、現在は北杜市内外の18名（女性15・男性3）が在会、普段は10名前後で活動しています。

活動の場は、図書館ボランティアとして市や県内外の朗読会、発表会、研修会への参加や運営、各小中学校・幼稚園での集会、老人福祉施設、町内会の行事、ことばの学校、FM八ヶ岳など、「依頼を受ければ、どんな場も、無難にコナス（？）」強さを持っていると自画自賛しています。というのは表向きで、その日、その場に至るまでの各人の精進ぶり、他のメンバーの鋭い指摘は、ほがらかの良い特徴で、切磋琢磨の場ととらえています。

ちなみに、ながさか図書館と一緒に作る年に4回の大人のための朗読会「声の文学全集」は、10年目38回を数え、毎回楽しみに聞きに来てくださる方々に愛されています。が、出演者の作品選びから当日に向けた稽古、会場つくり、チラシやプログラム作成など、毎回、最上の場を作り上げるための努力は半端ではありません。でもそれだからこそ喜んでいただけるのだと、今後も、チームワークの良さで、楽しんで活動を続けていく心意気です。

※この「ほのぼの」は、市民の皆様から寄せられました善意の赤い羽根共同募金の配分金の一部を財源としています。